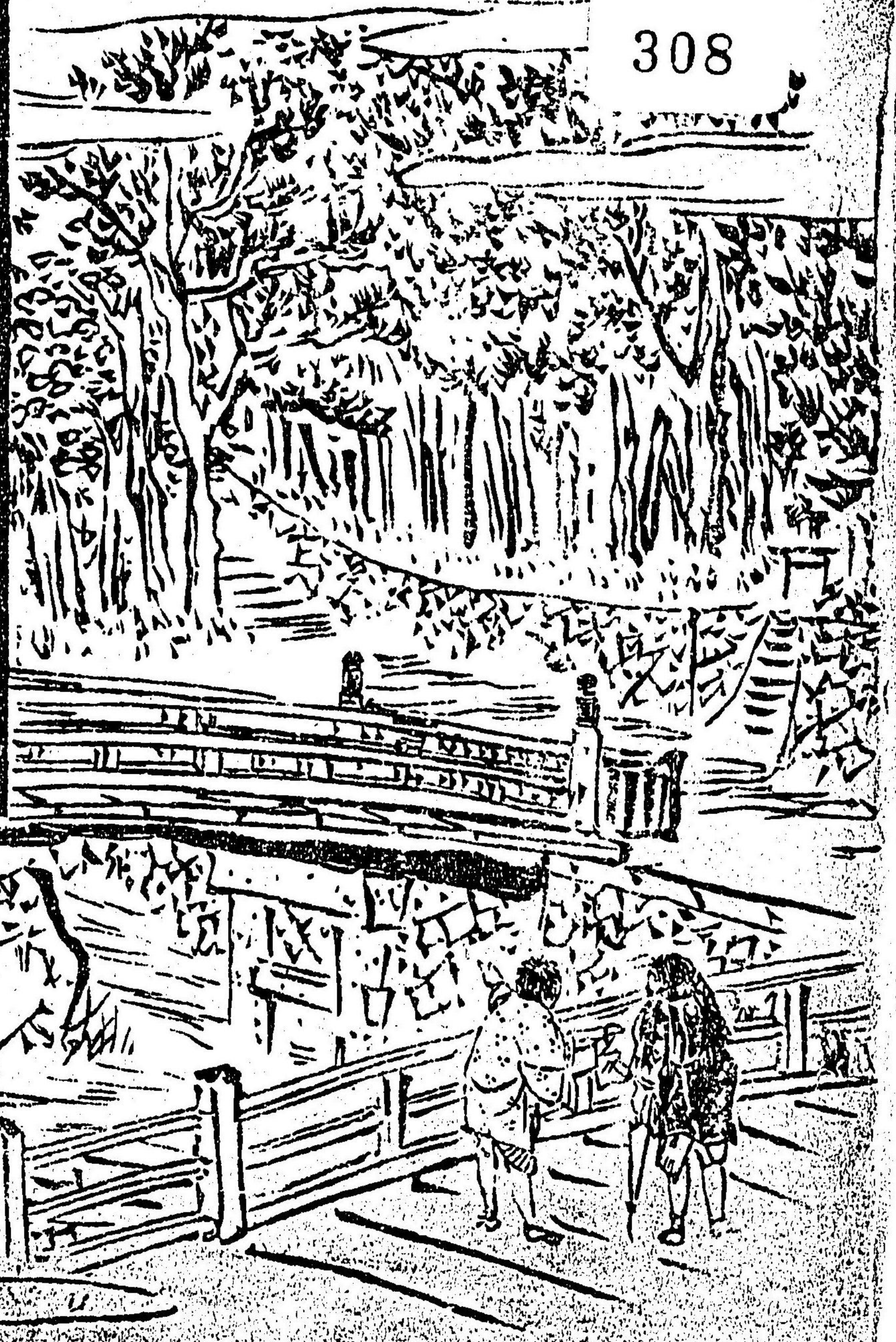


特67

308

日光諸社案内記



定價金壹圓

014494-000-4

特67-308

日光諸社案内記

鬼平 金四郎 / 刊

M17

ABB-0872



日光案内畧記

鉢石町を出て○神橋山管の蛇橋と云古事多
○中山通り右の方満願寺此地内ニ両大師并相
輪塔金唐銅高三丈余○本堂三佛堂間口十八間
奥行十四間高二十三間○石鳥居八黒田筑前守
殿國元方運ひ上ル高サ三丈二尺廻り疊丈二尺
笠石長さ七間三尺御影石也○五重塔高三十三
間酒井若狹守殿より上ル十二支彫物あり○所

日光市 今澤 大澤 徳次郎 宇都宮 雀宮 石橋 小金井 新田 小田 間田 野木 古河 中田

あり九ありめ石と入口の門三ツ棟あり金の
唐獅子彫りの菊の籠より象頭深鼻雲模也唐銅
石燈籠諸大名より上るあり○神木榎木○三神
庫三ツ宝藏○厩白木造猿のより物○水屋石の
十二本金のありの打浪飛龍の彫りの手
水鉢石ハ四尺、九尺あり鍋島殿より上る○二
の華居○南かん鐵の燈籠仙臺殿より上る○旧
一切經堂笑佛三像あり俗に笑堂といふ○中段

栗手 幸戸 杉戸 粕谷 越谷 草加 千住 東京 日光市 今市 板橋 文橋 鹿沼 奈落

左右飛ひありの獅子彫物あり○琉球國りゅうきゅうこくより上あり
 三十一口燭臺蓮燈ろうだいれんとう云朝鮮國てんせんこくより上あり
 上あり鉤鐘こうかね虫むし食鐘くわかね云同國どうこくより上あり廻まわり燈籠とうろう○阿蘭陀あらんたより
 上あり鉤燈籠こうとうろういつとも銘有めいあり○左右旧鐘樓鼓樓○
 旧本地堂十二間四面惣朱塗しゅぞりりとの多し○廻まわり
 廊裏の大彫だいひょうとの松竹梅孔雀鳳凰金鷄也○日ひと
 ら一門左右隨身まらしから破風扇やぶかみあきをもぎ四方金の風かぜ
 鐸たふ惣そうから木一本木のほりとのむし麒麟きりん乱獅子らんしし

出長 粉尾 古茶 中宮 日光 新波 朽木 合戦 金崎 掬木
 流野 尾 原 祠 宮 光 波 木 戦 崎 木

百花百鳥○龍○天人○仙人○三笑○四友○六
 侍○九哲くさついつきり極彩色ごくさいしきの彫ひょうの其外そのほかのらり
 寺てらの天井てんじやう古法眼こぽうがん元信げんしんの龍りゆう八方はつぱう四方しやうぱうより入いり
 三社さんしやおきほれり○唐門たうもん總唐木彫物多し屋根上
 小巻こまきの虫むしつあきかりり○拜殿はいでんくさくさ参詣さんぎ本
 社拜殿の間あひと石の間いしと唱となふ鋪石きき二重にじゆう一枚石まいし龜
 云此内結構こうかう恐多しと舌端せつたんと迷まより

矢高 玉舟 大籠 今市 日光 忍新 川館 天岩
 反内 生 生 渡 岩 市 日 忍 新 川 館 天 岩

〓百色の鳥金銀の花堆朱の柱其外恐多り
 ハ禁ま〇王垣四方山鳥木鳥草木の分残らん
 面の彫りの神樂殿旧護尸堂いつまも同断ほ
 もの多し東西廻廊二百間余奥院入口猫の門坂
 下門日供廊下何きり惣赤くぬらや〇二荒
 山の鳥居本社八方八棟造中宮祠と同神也左り
 坂を下り常行堂阿弥陀如来有の方法華堂子養
 育鬼子母神安置此間坂をのほり慈眼大師堂ホ

矢野村 大田原 越ヶ堀 芦野 白川 子田 小田川 大田川 大田川 新田

り正面八大猷院殿奥屋入口アウン仁王三ツ棟
 彫りの唐獅子左りの方寶藏唐銅石燈籠ハ諸大
 名より上る也水屋石柱十二本天井の龍ハ狩野
 安信の筆也二天門持國天廣目天裏方風神雷神
 あり石坂を上り左右鐘樓鼓樓夜又門捷陀羅夜
 又〇毘陀羅夜又〇鳥摩勒夜又〇阿跋摩夜又石
 利との多し唐門玉垣也〓〓〓おあまの拜
 殿此内結構恐多り禁を奥院入口皇嘉門夫

矢野村 大田原 越ヶ堀 芦野 白川 子田 小田川 大田川 大田川 新田

